Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

川崎市における地域日本語教育

～これまでの取組を踏まえた方針策定・今後の展開～

令和７年１月１６日

川崎市　市民文化局　多文化共生推進課

川崎市の概要

●面積

144．35平方km²

20指定都市中最もコンパクト

●人口（R6.12.1時点）

155万2，270人

指定都市中第６位

★首都圏の中央部に位置

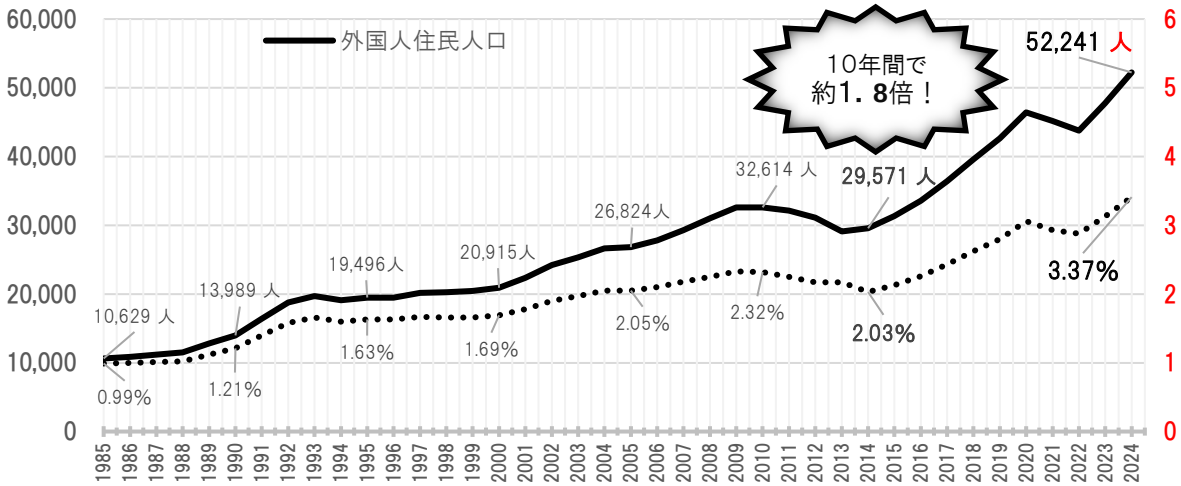
★羽田空港に隣接

外国人数・比率・主な国籍・主な在留資格

川崎市 KAWASAKI CITY

外国人数・比率

※2019から2024年の5年間で22.5%増加



主な在留資格

※「技・人・国」「家族滞在」の割合が高い。

1	永住者	15,519 人（30.6%）
2	技術・人文知識・国際業務	8,628 人（17.0%）
3	家族滞在	4,732 人（ 9.3%）
4	特別永住者	4,327 人（ 8.5%）
5	留学	3,904 人（ 7.7%）
6	技能実習	2,550 人（ 5.0%）
7	日本人の配偶者等	2,434 人（ 4.8%）
8	定住者	2,342 人（ 4.6%）
9	特定技能	1,788 人（ 3.5%）
10	特定活動	910 人（ 1.8%）
11	永住者の配偶者等	908 人（ 1.8%）
12	高度専門職	857 人（ 1.7%）
13	技能	689 人（ 1.4%）
14	経営・管理	362 人（ 0.7%）
15	企業内転勤	287 人（ 0.6%）
	その他	557 人（ 1.1%）
	合計	50,794 人（100.0%）

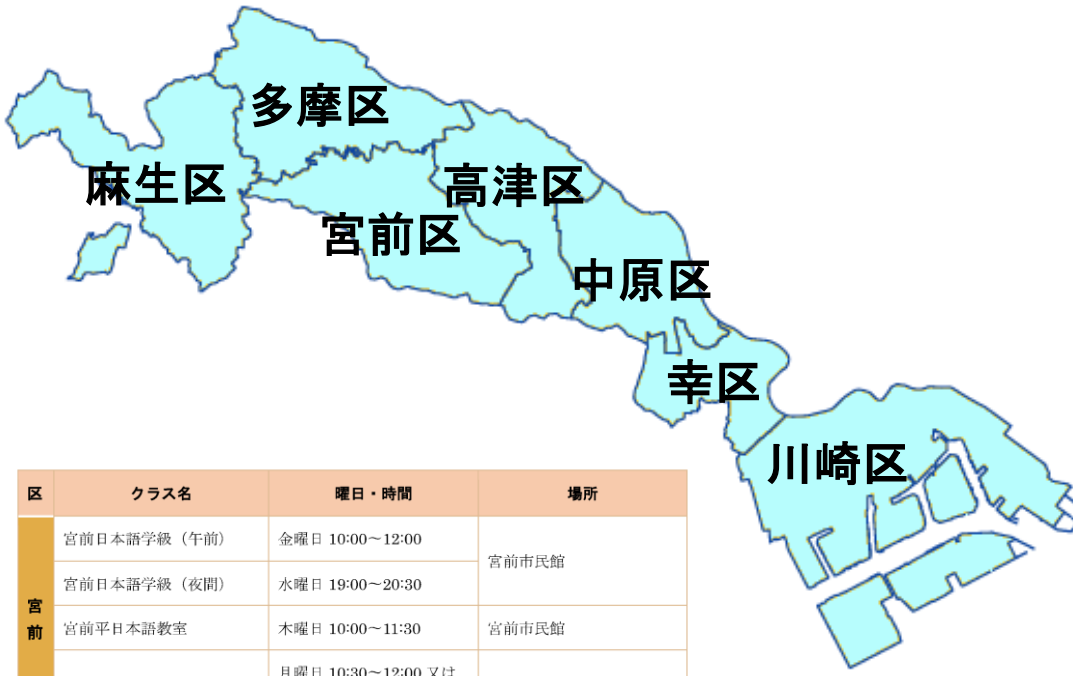
※2023（令和5）年12月時点

主な国籍

No.	川崎市		
	国籍・地域	人口（人）	割合（%）
1	中国	17,223	31.87
2	韓国	7,243	13.40
3	ベトナム	6,332	11.72
4	フィリピン	5,485	10.15
5	ネパール	2,729	5.05
6	インド	1,623	3.00
7	インドネシア	1,501	2.78
8	米国	1,416	2.62
9	台湾	1,349	2.50
10	ミャンマー	1,078	2.00
11	ブラジル	876	1.62
12	タイ	768	1.42
13	スリランカ	509	0.94
14	バングラデシュ	506	0.94
15	ペルー	506	0.94
16	英国	405	0.75
17	朝鮮	400	0.74
18	モンゴル	351	0.65
19	フランス	332	0.61
20	マレーシア	328	0.61

※2024（令和6）年8月現在

現状と課題



区	クラス名	曜日・時間	場所
宮前	宮前日本語学級（午前）	金曜日 10:00～12:00	宮前市民館
	宮前日本語学級（夜間）	水曜日 19:00～20:30	
	宮前平日本語教室	木曜日 10:00～11:30	宮前市民館
	LET'S be 日本語サロン	月曜日 10:30～12:00 又は 月曜日 13:30～15:00	福祉パル宮前
多摩	たまにほんごクラス（午前）	水曜日 10:00～12:00	多摩市民館
	たまにほんごクラス（夜間）	金曜日 19:00～20:30	
	にほんごサロン	木曜日 10:00～12:00	多摩市民館
麻生	あさおにほんごクラス	木曜日 10:00～11:30 木曜日 18:30～20:00	麻生市民館
	にほんご麻生・月曜クラス	月曜日 10:00～11:30	麻生市民館
	国際交流あさお 新百合教室	火曜日 18:00～19:30	福祉パルあさお
	柿生にほんご どようきょうしつ	土曜日 10:00～11:30	柿生地区会館 柿生小学校

※2023（令和５）年９月 20 日現在
※教育委員会事務局「川崎市で日本語を勉強できるところ」から引用

区	クラス名	曜日・時間	場所
川崎	識字学級「にほんごひろば」	水曜日 19:00～20:30	教育文化会館
	ふれあい館識字学級	火曜日 10:00～11:30 金曜日 10:00～11:30	川崎市ふれあい館
幸	幸日本語学級	水曜日 10:00～11:30 木曜日 19:00～20:30	幸市民館
	にほんごワールド	火曜日 10:00～12:00 （月 2 回程度）	幸区役所 幸区市民活動コーナー
中原	中原日本語学級	火曜日 10:00～12:00 火曜日 18:30～20:30	中原市民館
	日本語クラス せかいじん	金曜日 18:30～20:30	中原市民館
	川崎市国際交流協会* 日本語講座	火曜日 9:50～11:50 金曜日 9:50～11:50 水曜日 18:30～20:30	川崎市国際交流センター
	日本語クラブ「土曜の会」	土曜日 14:00～15:30 （第 5 土曜日はお休み。 変更の可能性あり）	かわさき市民活動センター 福祉パルなかはら
高津	高津日本語教室	水曜日 10:00～11:30 木曜日 19:00～20:30	高津市民館
	ともしびの会 日本語教室	土曜日 10:00～16:00	溝ノ口カトリック教会
	Wai Wai 広場	土曜日 14:00～16:00	福祉パルたかつ

1980 年代以来、市民ボランティアの参画を得ながら川崎市ふれあい館、教育文化会館・市民館において識字・日本語学級を開設・運営してきたほか、川崎市国際交流協会の日本語講座や自主グループによる活動など多様な主体による取組が行われている。

現状と課題

川崎市 KAWASAKI CITY

地域日本語教育に関する実態調査（R5年実施）

アンケート調査

地域の日本語教室
日本語学習を含む学習支援の教室
日本語学校
外国人雇用企業

ヒアリング調査

識字・日本語学級	日本語学校
地域の日本語教室（自主活動グループ）	大学
学習支援の教室、フリースクール	外国人雇用企業
中学校夜間学級・高校	技能実習監理団体・ハローワーク

【課題】
- 学習者の増加とニーズの多様化
- ICTの活用
- 支援者の不足とスキルアップ
- 連携・協力体制の構築

取組の全体像

- 事業実施体制の構築
- 地域日本語教育の実施
- 地域日本語教育人材に対する研修
- 川崎市地域日本語教育推進方針の策定
- ポータルサイトの設置・運営

事業実施体制の構築

川崎市
KAWASAKI CITY

川崎市地域日本語教育推進方針

総合調整会議

- 学識経験者
- 日本語教育専門家
- 外国人支援団体
- 経済団体
- 技能実習監理団体
- 日本語学校
- 国際交流協会
- 教育委員会
- 庁内関係部署

協議・助言

川崎市
（補助事業者）

総括コーディネーター
地域日本語教育コーディネーター

連携・協力

各主体

- 自主活動グループ
- 日本語学習を含む学習支援教室
- 外国人雇用企業
- 日本語学校
- 学校・大学等
- 地域（町内会等）
- 外国人支援団体
- 市民館等

実施

日本語学級・日本語講座

- 日本語講座
- 識字・日本語学級

実施

取組の具体的な内容

地域日本語教育の実施

■名称
識字学習活動

■実施場所
教育文化会館ほか６市民館

■実施回数
４５５回（３５回×１３学級、１回２時間）

■目標
外国人市民等が日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につける学習を支援する。また、学習者と支援者（ボランティア）が共に学び合う関係づくりに配慮し、多文化共生社会の実現を目指す。

■ボランティア
約１８０人

■ボランティア募集
各実施館でボランティア研修（入門　９～１０回程度）を開催

取組の具体的な内容

地域日本語教育の実施

■名称

日本語講座

■実施場所

川崎市国際交流センター

■実施回数及び費用

９７回（午前：毎週火・金曜 全61回、夜間：毎週水曜 全36回　1回2時間 ３学期制）

１回５５０円、別途テキスト代、午前は無料の保育あり

■目標

多文化共生社会の実現を目指し、外国人市民等が、日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身に付ける学習を支援する。

■ボランティア

約５０人（日本語教師相当の有資格者、ボランティア登録事前研修（全５回程度）受講者）

■内容

国際交流基金の『まるごと』を主教材として導入し、「日本語教育の参照枠」や「生活Can do」等の方針に基づいた学習運営を実施

取組の具体的な内容

地域日本語教育人材に対する研修

■名称

識字ボランティア研修（ブラッシュアップ）

■実施場所

各市民館

■内容

現状や課題に応じた研修となるよう「支援者（ボランティア）」の育成を行う。

（研修内容例）

・識字学習ボランティアのスキルアップ
・生活Can doの活用方法を学ぶ
・識字の指針や最近の教材を知る　　など

※ 川崎市国際交流センターにおいても、ボランティアに対して独自にスキルアップ研修を実施

取組の具体的な内容

川崎市地域日本語教育推進方針の策定

■目的

日本語教育の環境整備に向けた取組が本格化しつつある動向を踏まえながら、「多文化共生社会」の実現に向けて本市でも外国人市民の現状や日本語教育に関する実態及び課題を改めて整理し、本市の実状に応じた取組を総合的かつ効果的に推進するために、その基本的な考え方や方向性を示す

■策定経過

●「地域日本語教育の基本的な方針に関する検討部会」において、学識経験者等によって協議・検討

●令和４年度から令和５年度にかけて部会を７回開催し、令和５年度に地域日本語教育の実態調査を行い、方針（案）を作成

●方針（案）に対してはパブリックコメント手続を実施し、市民からの意見も踏まえ「川崎市地域日本語教育推進方針」を策定

川崎市地域日本語教育推進方針 **【全体構成】**

＜ 基本目標 ＞

「多文化共生社会」の実現に向けて、外国人市民が、日常生活及び社会生活を円滑に営み、個人として本来もっている豊かな能力を発揮して、市民として主体的に地域社会に関わることができるよう、日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進します。

＜ 基本理念 ＞

１ 人権と多様性の尊重

人権に関する国際原則等を踏まえながら、日本語教育に関わるすべての人が互いに認め合い、人権や多様性が尊重され、日本語教育の取組が多文化共生社会の実現につながるよう、取組の推進に努めます。

２ 社会参加の促進

言語の習得は、より深く社会に参加し、より多くの場面で自分らしさを発揮できるようになるための手段であることを認識するとともに、学習者が地域社会に参加しやすくなるよう、環境の整備に努めます。

＜ 施策の方向性 ＞

１ 日本語教育の機会の拡充等
- （１）外国につながる幼児、児童、生徒等に対する日本語教育
- （２）外国人留学生等に対する日本語教育
- （３）外国人労働者に対する日本語教育
- （４）難民等に対する日本語教育
- （５）地域における日本語教育

２ 各主体との連携

３ 地域社会との連携

４ 日本語教育に関わる者の能力及び資質の向上等

５ 日本語教育に関する情報の提供等

６ 推進体制の整備

取組の具体的な内容

ポータルサイトの設置・運営

■目的

　これまでは市内各区の日本語教室の活動案内を中心に掲載してきたが、多様化する学習者・学習支援者のニーズに応えるため内容を拡充し、学習機会が増えるようにオンライン教材の紹介や文科省のサイトの案内なども含めた総合的なサイトを設置し、一元的、継続的な情報提供を行うため

■内容

・市内で日本語を学べる場所の掲載及び検索（学習者向け）
・オンラインで学習を行うコンテンツやＩＣＴ教材の案内（学習者向け）
・ボランティア募集情報、日本語教育に関する情報や各種教材の紹介（支援者向け）

■設置・運営手法

　入札によって選定した事業者にポータルサイトの作成・管理を委託し、情報の掲載は市が直営で実施する。

■実施年度

　令和６年度中に公開予定

年次計画

【R5年度】
・総合調整会議の運営
・地域日本語教育に関する実態調査の実施
・川崎市地域日本語教育推進方針の策定

【R6年度】
・総合調整会議の運営
・総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーターの配置
・ポータルサイトの設置・運営
・スキルアップ研修の実施

【R7】
・総合調整会議の運営
・ポータルサイトの運営
・地域日本語教育コーディネーターの増員
・パイロット事業の実施

成果と今後の課題

川崎市
KAWASAKI CITY

【成果】

・方針策定により、日本語教育に関する市の基本的な考え方や方向性に基いた取組の推進

・総合調整会議に様々な分野から委員・オブザーバーが参画し、連携・協力体制の構築

【今後の課題】

・ICTの活用

・多様なニーズに対応した学習機会の確保

・学習支援者の確保・育成

・持続可能な総合的体制づくり